

●Aさん（2回目のリサーチ）

フラワーエッセンスやアロマテラピーを学ばれ、夢の解読など深められています。

前回、エッセンスを飲んで母親とのやりとりに光があたった。もう一度飲用してみたいと思い2回目のリサーチに参加することにした。

服用中の期間・頻度

2022年2月3日～2022年2月17日 起床時、昼食前、就寝前の3回
物事に取り組む前に飲用（14日間）

身体の変化

変化なし

夢

覚えている夢がなかった

出来事

露草のエッセンスを飲むことを決めてから、自ら友人に連絡を取りオンラインで会話をした。毎日15分鉛筆画の練習をした。絵を描く練習をするために文房具（鉛筆、消しゴム、スケッチブック）を新しく購入した。以前から観たいと思っていた映画（ドライブマイカー）に夫を誘い観に行った。いつもの自分に比べ積極的に活動的な2週間を過ごした。

気づき

私は、1年のはじめに100目標を立てています。その目標のひとつに毎日絵を描く練習を15分行なうことにした。やりたい理由として、子どもの頃に絵を描くことが好きだったこと、スケッチが上手な人に憧れていて自分も上手く描けるようになりたいと思っていたからだ。

エッセンスを飲用して3日目に、子どもの頃の絵にまつわる母とのエピソードを思い出した。私は中学3年生もうすぐ卒業を控えていた時、美術の授業で自分の名前の落款を掘った。そして、卒業制作で色紙に絵を描きその作った落款で印を押すという宿題が出た。家で宿題をやっていると母は私の描いた絵をみて「絵の具は混ぜない」と言った。その時私は、急に怒られた感じで母は意味不明なことを言っている、とても不快な気持ちを感じた。私が色紙に描いていた絵はその当時家にあった料理テキスト「きょうの料理」の表紙絵。それは、堀文子さんの作品が使われていてお雛様が描かれていた。その絵をマネして描いていた。

今となれば、日本画で有名な堀文子さんは岩絵具を使われていることを知っている。母は知識として日本画は岩絵具を使うと教えたかっただけで、色の混ぜ方が悪いとかそう言う

ことを言いたい訳ではなかったと思う。私は、子どものころは絵を描くことが好きだと思っていた。が、じつはその描いた絵を母に褒めてもらいたい。褒めてもらうために上手くなりたいと思っていたのだと気がついた。

感想

今回、実際に母とやりとりする場面は発生しなかったが、古いエピソードを思い起こすことで、自分が子どもの頃の思考パターンを考えることができた。自分が好きだと思っていたことが、じつは母親に褒められたいという動機からはじまっていた。だから、褒められなければやる気は続かないし、だんだんと無気力に陥ってしまったのだ。そのことに気がついたと時はなんだかショックだったが、毎日絵を描いているうちに自分の内から湧き上がってくる楽しさに気がつくことができた。

*レポートを拝見して得た洞察

一回目と同様、子ども時代のことが浮上していました。幼い頃の夢でもあった「絵を描く」ことに対して、2回目では当時「なぜ描きたかったのかについての動機」にまでたどり着くことができ、現在はご自身のために描くことの喜びの毎日を取り戻された様子が感じられました。

●T.Mさん

フラワーエッセンスに長くふれ現在も勉強中で、ご自身のためにも使用されています。

ツユクサのエッセンスと聞いた時に「飲んでみたい」、と思ったのはツユクサが子どもの時の記憶と結びついていたのでした。夏の前の季節に咲く青い花が可愛らしくて、子ども心に好んでいました。小学生のころの私は、あまり学校が好きではない子どもでした。学校に行く道は気乗りしないところに行く道でしたが、そんな中で、道端に咲いている花たちを発見しては辿りながら歩いていた記憶があります。ツユクサもその中で大好きだった花でした。青い小さな花を見つけては、「あった」「ここにも咲いてる」と思いながら歩いているうちに学校に着いていたような気がします。

服用中の期間・頻度と観察記録

2022年4月15日～5月6日

4月15日

夜飲用4滴

ボトルの透明感が強いと感じる。

「水の浄化」「水で浄化」という言葉が心に浮かんだ。

4月16日～19日

ツユクサのみ飲用

一日4回、4滴を基本にツユクサのみ飲用。

日中、外出するときは、水筒などに入れて飲用しました。

4月20日～

ツユクサを1日4回、外出時には水筒に入れて飲用

+ホーンビーム、オリーブ

多忙のため、疲れが出てきたため、ホーンビームやオリーブなどを一緒に飲用しました。。

4月24日～25日

ツユクサを1日4回、外出時には水筒に入れて飲用

+レッドクローバー

多忙のため、精神的にパニックになってきている感があり、レッドクローバーを飲用しました。

4月26日～27日

ツユクサを1日4回、外出時には水筒に入れて飲用

+レッドクローバー、オレゴングレープ、ブラックコホーシュ

多忙のため、精神的パニック、更に他者に対する疑心のようなものが芽生えてきたため。

4月28日～5月6日

ツユクサを1日4回、外出時には水筒に入れて飲用

+マスタード、アスペン、アロエベラ

3月、4月の多忙がひと段落したことで、燃え尽き、憂鬱感が出てきたため。

身体の変化

ツユクサのエッセンスを飲んで感じたのは、子ども時代の癒しでした。苦手な学校への道を、ツユクサが寄り添って、私を送り届けてくれていたような、昔、優しい友達がいたことを思い出したような気持でした。

思い出との結び付きからかもしれませんが、飲むと胃のあたり（太陽神経叢、あるいは第3チャクラ？）の緊張がほぐれるような気がして、なんとも言えない安心感がありました。

夢

4月18日 朝方（服用から三日目）

これまでの色々な職場の人が出てくる夢。最後の飲み会（職場を去る？）苦手だった人（誰だったかはわからない）とも違和感なく話す。

途中で移動する。〇〇ワールドという感じのコンセプト感の強い遊園地のようなところの

横を通る。クリーム色に包まれたようなワールドで、変な感じがして気持ち悪く感じる。「気持ち悪くないのかな」というと周りにいた人たちも「そうだね」同意してくれる。

出来事/気づき/感想など

また、飲用していてしばらくして感じたのですが、朝早くに目が覚めた時に、いつもは「もうちょっと寝ようなどと二度寝をしていたのが、目が覚めたときに起き出してしまって何かと活動していたな、ということです。朝の5時半や6時頃で、何も用事が無ければ普段は起きようと思わないような時間なのですが、起きて行動していたように思います。飲用時期に、特に朝起きることや生活時間に関して問題を感じていたことはありませんでした。感覚としては、普段の生活よりも2時間ほど生活時間が朝に移動して、そのため夜も必然的に早く寝るようになった感じでした。

しかし飲用を始めてから1週間ほどした頃から、疲れを感じるようになりました。というのも、飲用前の時期からでしたが、仕事や他の用事で多忙にしており、自分としてもかなり忙しい時期での飲用となってしまうのでした。多忙さや肉体的な疲れに対しては、他のフラワーエッセンスの力が必要なことを感じました。そして多忙さが終わった後には、燃え尽き感から鬱のような感じになってしまいました。身体の疲れ、疲れから起きるマイナス感情、鬱などにはツユクサは対応しないのかな、ということも感じました。

* レポートを拝見して得た洞察

子ども時代の癒しと関係している様子。T.Mさんの場合お仕事が多忙な時期に服用されていたので「疲れ」と「生活習慣」の関わりを観察したものでした。その後お話ししたところ、職場から戻りリセットするためにTVを見る習慣があった時間を、ツユクサのリサーチ中は「睡眠」へ移行し、生活のリズムが2時間前倒しにされたことで、一種の現代人の生活習慣の問題への作用を観察しました。現代人の問題を浮き彫りにしたエピソードだと感じました。

● I.Mさん

Iさんはご主人のリハビリ中でもあり、以前は野口整体に関わる活動をされていたり、現在は神聖幾何学ワークやフラワーエッセンスを取りながら、ご自身と向き合っているようです。

ご自宅ではずっとご主人がバラを育てていらっしゃいますが、その年の最初の花を切ることで成長させる方法を取り入れている様子に、この花たちを何か形にできないかと思い、今年はバラの花びら染を始められ、その流れから叩き染と出会いました。

つゆ草はもともと好きな花でしたが、今年に入り染のワークで叩き染（Iさんは押し染

という表現がしっくりきています) の話を聞き、庭の花で何かできないかと思いついたことからつゆ草のご縁が始まりました。つゆ草にかかわる迄こんなに早くしぼんでしまう花だとは知りませんでしたし、つゆ草は梅雨草かと思っていました。おそろおそろ布に挟んで上から圧をかけてみると、まるでプリントしたかの様に染まりました。じっと見ていると、つゆ草の中の幾何学的な美しさやふしぎな花の形に気がつき、ふと確かつゆ草のエッセンスのことがニュースレターにあった様に思い、問い合わせでエッセンスを送っていただきました。

服用中の期間・頻度と観察記録

1ヶ月の間、だいたい1日朝晩4滴ずつ服用

出来事/気づき/感想など

服用すると大きな一輪のつゆ草の花に覆われたような感じを得ました。服用はおおよそ1ヶ月の間でしたが、同時に毎日つゆ草を摘み、布に押ししていく作業を夏の間(今でも)続けていたので、花の時期の経過を楽しむことができました。

つゆ草の爽やかな青と黄色、互いの補色がひき立ち、ハート形の苞の中には必ずアリ達が隠れています。

押し染から染める《時》を逃すともう形にならなくなる経験を得ました。花が開花しているとき、一番美しいときは数十分なので、その花の勢い(ピーク)がわかるようになります。そのタイミングを逃すと花は丸まってしぼんでしまうのです。

今回の服用とひと夏のつゆ草との関わりから得た事は、
《時を得ること》《様々な事象にはタイミングがあること》です。

それは意識されるものではなく、本能的というのか、自然のときの中で自ずと得るタイミングです。ベストなタイミングは考えて得られるものではなく、またその為の準備できえも、ふとその波にのまれた時に《時を得る》感じがしました。今振り返ってみれば、時代がそうであったためか家庭や社会でも、急がされたり頑張ることを強制されて生きてきた様に思います。「頑張ってここまでしなくちゃー!」とか、「この時間までになんとかしなくては!!」とかのイライラする感じが今はほとんどありません。必ず《時を得て》物事が一番よいタイミングで交わると信頼できる気がしています。そうですね、アセラナイ。何かわからないけれど、シンライしている気がします。

*レポートを拝見して得た洞察

ツクサの研究を続けて、後半の頃にリハビリの必要なご主人との神経的な疲れにFESエッセンスのケアギバーを取ったところとても楽になったそうです。

つゆ草の色に癒されたことが大きく、つゆ草の押し染について伺っていたときのお話では「つゆ草を染めていることには経済効果も無いんです。誰かのためにでもなく、自分のためにでもない、その時間なんの目的もなく毎日つゆ草を摘み、ただ染めていました。」と仰るI.Mさんのつゆ草に向き合う時間が、まるで瞑想の時間の様だなと思いました。

やはり現代の問題（家庭や社会でも、急がされたり頑張ることを強制されて生きてきた）に触れていらっしやいます。

またツユクサのリサーチ中、I.Mさんが参加されたあるワークのときに「私たちの魂は生まれる前に課題を決めてくると言われますが、このことをブループリントともいう様ですが、その課題と向き合う時期も決めているのでその時が来たら無意識につかむこと」というお話を伺ったことを教えてくださいました。

*『ブループリント』とは、私たちが生まれる前に決めてきた人生の設計図のこと。アメリカの著名なヒーラー、セラピストでもあり科学者でもあるバーバラ・アン・ブレナンの著書「光の手（上）」によれば、インカネート（受肉）する魂は自らのスピリットガイド（霊的案内役）と出会い、次の生涯を計画する。これを『ライフワーク』と著書の中では表現しています。

I.Mさんはツユクサについて最後に、
「朝方の色の光を届けるもの」という素敵な言葉をくださいました。

以上です